

# 1月 城南だより

令和6年12月25日（水）  
東京都立城南特別支援学校長  
濱野 建児

## <新しい年に向けて>

校長 濱野 建児

12月19日（木）に臨時全校保護者会を開催しました。年末のお忙しい中、来校やオンラインで御出席いただきありがとうございました。今回、来年度の教育課程変更について御説明しました。教員の働き方改革を推進し、子供たちと向き合う時間や教材準備等の時間を確保し教育内容の充実を図るため、数年に渡り段階的に実施しながら、より良い学校づくりを目指してまいります。教育課程の変更に伴い、下校便の変更があります。本校の児童・生徒の大半はスクールバスを利用して登下校していますので、関係の保護者の皆様・放課後等デイサービス等の皆様には、次年度に向けて改めて送迎の御相談や手続等で御準備があると思います。本校の教育への御理解と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年（2025年）の干支は、「巳（み）」です。十二支では蛇に例えられます。蛇は脱皮を繰り返す様子から、命の再生の象徴や生命力の高さによる畏怖の念を抱かれることが多いようです。世界の多くの文化で象徴的に縁起の良い存在として、幸運や人々の繁栄をもたらすとされています。皆様にとって、良い年となるよう願っています。



## <高等部> 「星の王子さま」観劇

高等部主幹

12月10日（火）劇団「風」による「星の王子さま」の公演を観劇しました。文化庁の複数年観劇で2年目の取り組み。城南としては4年目の演劇鑑賞。体育館が劇場となり、いつもとまったく違った雰囲気の中、劇が始まると高等部の生徒たちは一気に引き付けられました。

今年度は地理学者を濱野校長先生、呑み助を菊地先生が演じて会場を沸かせました。3年生は一幕の終わりに舞台に参加して、練習した「ぼくの旅はつづく」を手話も添えて歌いました。スポットライトを浴びて素敵でした。そして、2幕の終わりには高等部全員が舞台上がり、フィナーレはとても盛り上がりました。

御希望のあった保護者の方も観劇されました。日頃では経験できない、貴重な経験をし、楽しみました。



## <研究> 3ヵ年計画のまとめに向けて

研究部

本校では、「城南特別支援学校における個々の運動機能と知的発達に合ったICT活用アイデア」を研究テーマとし、児童・生徒の力を引き出すICTの活用について、3ヵ年計画を実施してきました。今年度は3ヵ年計画の最終年となります。研究の一環としてデジタルを活用した共同学習事業、デジタル教科書改善検討委員会、芸術教育推進事業（デジタルアート）、生成AI研究校など、東京都教育委員会の指定を受け、ICT活用に力を入れています。また、平行して各教員が、児童生徒のコミュニケーションを広げるためのICTを活用した授業実践を実施し、帝京大学の金森先生、ICT救助隊のアドバイスを受けて指導の改善を行っています。そして、毎月の分科会に分かれて研究協議会を実施して、授業実践や外部専門家からの指導、助言について協議し、各教員の学びの共有を行っています。今後は、3年間取り組んできたまとめを行い、研究報告の内容を学校ホームページに掲載を予定しております。

